

# 未来を開く

長井市立長井北中学校

No30 令和5年11月10日

## 第3学年第2回親子進路学習会 の開催

11月2日(木)、3年生とその保護者を対象に、第2回親子進路学習会を行いました。第3学年主任より、①公立高校入試実施要項 ②推薦入学(公立・私立) ③入試手続き(公立・私立・国立) ④三者面談の日程 ⑤受検校確認書 ⑥住所等の確認などの説明を行うとともに、例年希望者が多い公立高校4校(南陽、長井、長井工業、荒砥)の先生をお招きし、お話を伺いました。

人生には、進学、就職、結婚等、決断の 때가 何度かあります。その最初の時を3年生は迎えています。早い人では、1月上旬に入試を迎えます。あと、2か月です。判断にあたっては、より多くの、そして正しい情報を持っていることが大切です。今回はそれを得る大切な学習会です。将来に向かって、様々な人達と相談し、進路を決定して欲しいと思います。



## 第2回環境整備早朝作業 ご協力ありがとうございました

11月4日(土)、PTA厚生部主催による第2回環境整備早朝作業が行われました。

午前6時30分から約1時間の作業となり、草刈機による草刈り作業、スコップによる側溝の落ち葉・泥上げ作業、グラウンドや駐車場付近の落ち葉の清掃を分担して行いました。

日頃も、生徒会や職員で落ち葉の清掃等を行っているのですが、広い校地のため、なかなか手に負えないところもあります。しかし、保護者の皆様のおかげで、短時間で大変きれいに整備していただきました。その環境の中で、北中生は気持ちよく、思う存分学校生活をおくることができます。職員生徒共々、感謝の気持ちを持ち一層頑張っていきたいと思います。完全に落葉するまで、学校でも整備していきたいと思います。

お忙しい中、そして早朝にもかかわらずご協力いただき、大変ありがとうございました。



## 慈光園さくら会の皆様から アルミ缶をいただきました

生徒会ボランティア委員会では、SDGsの視点で自分達ができることに取り組むことや思いやりの心を高めることを目的に、アルミ缶回収に取り組んでいます。伝統になっている取組の一つです。

この度、慈光園のさくら会（職員で組織している会）の皆様から、アルミ缶を寄贈いただきました。ボランティアの意義を考えると、活動の輪が広がっていくことは大変嬉しいことです。

慈光園さくら会の皆様、本当にありがとうございました。



## コンクールでの入選 おめでとうございます

### 【西置賜地区読書感想文コンクール】

特選 永遠じゃない 3年 横山 侑史 さん  
入選 私たちで考えられること 3年 小野日向子 さん

## 読書の秋 全校朝会講話から（抜粋）

なぜ、読書の秋なのか、その由来を調べてみると次のような説があることがわかりました。古代中国の唐時代、およそ西暦700年代、今からおよそ1300年前に韓愈（かんゆ）という詩人がいました。韓愈の詩に「灯火（とうか）親しむべし」というものがあります。意味は「涼しく夜の長

い秋の夜は、灯火の下で読書するのに適している」ということです。ここから、秋は読書にふさわしい季節だというイメージになったということだそうです。また、皆さんもよく知っている夏目漱石が韓愈の詩を「三四郎」という小説の中で取り上げ、そこから読書の秋が広まったと言われているそうです。

読書は、自分だけの人生では味わえない、他の人の人生を体験できたり、時空を超えて、過去や未来の世界を体験できたりします。また、歴史上の人物と友人になることもできます。小説の中の様々な場面で、登場人物の考え方や気持ちを知ることによって、現実の日常生活の中で自分の言動に活かしたり、人の気持ちを想像したりすることもできるようになると思います。

小説に限らず、本には多くの人の知恵や知識が凝縮されています。正しい日本語、美しい日本語という点でも、著者だけでなく、本を出版するための編集者や関係者が何度も校正し、言葉を選んで1冊の本になるわけですから、インターネット等SNSで表現された文章では学べない言葉や表現を学べ、語彙力や表現力を高めることができます。このことは皆さんの知恵や知識をも高め、学力をも高めることにつながります。いつも言っていますが、より多くの知識があった方が選択の幅、生き方の幅が広がり、より人生が豊かになる、読書もその手助けをしてくれるものだと思います。

涼しく夜の長い秋の夜、テレビやネットの動画、ゲームの時間を少しだけ読書の時間に回してみたいと思います。学校の図書館、長井市立図書館、本屋には合わせると相当数の本があります。必ず興味・関心のある本があるはずです。読書の秋、まずはページをめくってみてほしいと思います。

